明治二十四年一月廿九日印刷
明治二十四年一月廿九日出版

（非賣品）

婦人衛生會雜誌

第十五號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生會雜誌

第十五號

目次

一月の衛生　岡田和一郎君
衛生と結婚との關係　宮下俊吉君
傳染病豫防心得
精神病の原因幷に其豫防法　島村俊一君
衛生叢話
本會錄事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生會雜誌第十五號　明治廿四年一月廿九日發兌

正月の衛生（二十四年一月講演）

岡田和一郎君演說

明けまして先づ御芽出度う御坐ります。偖て私は昨年も一度詰らぬとをれ咄し致しましたが、今年も新年早々から何にか遣らんかと云ふお咄しで御坐いましたから相替らず詰らない事を申して新年の御祝詞に換へ様と思ひます。

私の今日申上げ様と思ふのは「正月の衛正」と云ふので、實に正月は衛生上に注意せなければならん箇所が澤山有る、ソレのみならず是れより後ち我々人く々が衛生と云ふ事に重きを措くならば最も正月の衛生に注意をしなければならんと云ふ考へを起しましたから、ソレに就て少しく皆さんの御參考になるとを申上げ様と思ひます。

扨て正月の儀式と云ふものは國々で大變其趣きを異にして居ります。歐羅巴或は亞米利加と、日本の情態とを比べて見ますると餘程違ひます、歐羅巴あたりは正月は割合に冷淡に暮します。併ながら日本は東の端から西の端まで、何處に往ッても正月と云へば、種々の物を拵へいろ〳〵の飾りをして騷ぐ習慣になつて居ります。偖て日本は昔しからに正月と云へば一通の儀式を以て祝はなければならぬ習慣に爲ッて居りまするし、殊に當時は國粹保存と云ふ事の流行る世の中で有りまするから、私とても此昔しから仕來ッて居る儀式を皆廢して仕舞ッて、淡泊に靜肅に祝せよと云ふのでは御坐いませぬ、儀式は保ッて置かなければならんが、併し日本は遲まきながら追々學問も盛になり、事物に改良を加えて往かなければならん誠に多端の時であるから、從ッて身體の衛生にも一層注意しなければならんから、昔からの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

儀式も能く研究した上で、惡るい所が有るなれば、ソレは出來る丈け改良して戴きたいので有ります。併し此正月の儀式に就ての食物で有らうが、飾方で有らうが、國々で其趣きが違ひますから、今私の申事も日本國中何れの人にも當て箝まると云ふ事は迚も六ヶ敷い、私は四國のもので御坐いますが、四國の正月の風を守ッて居る人に外の國の儀式を申上げたならば、或は當て箝らないかも知れない、けれども私は先づ東京の風に基いて申上げよふと思ひます。

先づ第一に食物の弊……扨てお正月の儀式として食する物は如何なるものかと云ふに、皆さんも御承知の通り第一に餅、是は日本國中何處でも大概同じ樣で有る、殊に少くとも三日の間は雜煮を食べる事に極つて居る、ソコで此雜煮は衛生上好いか惡るいかと云ふ考へを起すと、私は餘り好くないもので有らうと思ひます。素より日本の所謂餅と云ふものは西洋抔では餘り多く食べませんから、是に對する消化試驗をした人は今まで無い樣でわります、只一度日本に於て大學の助教授坪井次郎氏が先頃私等學士連中へ報告したとが有りますが、ソレとても極く不完全のもので有つて是れのみにては未だ餅の衛生上果して好いか惡るいかと云ふ判然とした事を申上兼ねますが、先づ大躰より鳥渡見下せば我々が平生食べ付けて居る所の御飯ソレと非常に異つたものを食べて一日なり二日なり暮すのは必らず身躰に利益の有る筈は無い、平生の食物と違つたものを食べて居れば習慣に背くから惡るいに極つて居ります。又餅は非常にお腹の張るもので餅を食へば如何に美味いものが有つても食べる事が出來ん樣になる、故に消化の良否即ち好いか惡しいかと云ふ事は誠に判然しませんが、外の事實から推して來たならば餅は身躰に好くないと云ふ事が解ります。併ながら是も正月の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

儀式として食べなければならんと云ふならば、お屠しなさいとは申しませんが、雜煮を食べる爲めに平生の食物を食べぬ、肉食もしないと云ふ樣な事の無い樣に注意なさる樣に望むので有ります。○それから其次の食物は如何なるものかと云ふに、數の子がなければならん、鱈がなければならん、「ごまめ」がなければならんと云ふ樣に正月の料理に遣ふものは、奇妙にも不消化の物ばかりで其上に乾物が多い樣で有ります、鱈と云ひ田作と云ひ誰に聞いても消化の好い者だと云ふ人は恐らく有りませぬ、況して斯くの如き者は皆乾物でありますから、乾して置く中には、塵埃も附く其中には有毒の塵りも這入ッて居る、鱈の如きは實に不潔の物が籠ッて居るとのとです。併し若し之が大變に味ひが好いものなれば縱令乾物で有らうが、なんで有らうが好しけれ共味も餘り好くなく、養ひに爲るべきものも少なき不消化物を正月の儀式だと云ふて多く食するのは實に其意を得ない次第であります、日本は海に接して居る國で御座いますから、隨分新鮮の魚に富んで居るし、此節では洋食も盛になりましたから獸肉も多くあります、然るに何を苦んで斯かる不消化物を食べますのか、斯の如き物を食わずとも隨分立派な料理を食ふ事が出來る世の中であります。○併し是れも儀式ならば仕方も無いが、これを以て正月中の食物にする樣なとは大變な間違ひゆゑ、儀式丈けに止めて、若しも食物で愉快を取らうと思ふなれば、外の料理に改良を致したい者であります。○本會の如きは衛生食物を御研究なさるさうで御坐いますが、正月の料理等は猶充分に御注意あらんとを望みます。○

ソレから第二に申上げるのは、遊び方の弊……………正月は身分の高い低いを論ぜず、如何なる人でも暇を得て遊ぶ事になつて居ります、節季には皆汲々とし

て苦しみに堪えなかつた人でも一夜明れば何となく愉快氣に、大人も子供も家の内外に相集ッて樂しみ暮すのが日本の正月の情態で有ります、故に年中を比較して見ると正月が一番身躰に快樂を覺ゆる時である、新年の遊び方が好かつたならば精神に快樂を得て身躰に利益を受くるとも出きるが、之に反して遊び方が惡るかつたならば其弊害は數年又は數十年の後に遺つて害を來す樣な事が有りまするから新年の遊び方は餘程注意しなければならない。新年の遊び方もいろ〳〵有りますが先第一に加留多遊び、或は花合せ、又は音樂を弄ぶとか、羽根をつくとか、鞠をついて遊ぶとか、雙六を見張ッたり、其他いろ〳〵の遊び方が有る、其遊び方を皆一々衛生上より考へて見れば、隨分身躰に害の有る遊び方も多い樣であります、併し同じ遊ふにも遊びつゝ身躰を丈夫にするのが衛生會の會員たる所であるから、遊び方にも深く考へを及ぼして戴きたいと思ひます。

扨て加留多杯は衛生上に好いものか惡るいものかと云ふに、一番惡るいもので有る、なぜ惡るいかと云へば、加留多遊びをするには必ず大勢の人が一室内で勝劣を爭さふもので有るから、大變眼が惡くなつて結膜炎を起したり又は埃を吸つた爲め氣管支加答兒を起す樣なとが往々有つて、實に加留多は衛生に有害ある遊び方で有ります、况して餘り遊びにふけると遂には身躰の運動が缺ける、其上に又習慣として加留多會と云へば必ず同時になにかしら食する樣なとが有る、運動せずに何か食すれば遂には胃を損じる、ドウ考へて見ても不都合千万の遊び方で有ります、又加留多、花合せ等の遊びは社會の上から考へて見ても子供に斯の如き遊びを始終させたならば、遂に勝負事が面白くなつて、仕舞には賭遊ひをする樣になります、故に正月の遊びは極く僅かの間で有

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るけれども、之れに由て十年の長き數十年の長きに害を及ぼす様になるから、是等のとは成丈け避ける様にするが宜しからうと思ひます。

又衛生上好い遊びは何かと云ふに追羽子抔が衛生上に一番適當して居ると思ひます、なぜ宜しい遊びかと云へば、アレは家の中の遊びではなく家の外で遊びます事故新鮮の空氣を吸ひつゝ遊び、又思はず運動するから食事も大變進み、そして同時に面白いと思ふ精神を起すから、大變身體に利益が有ります。實に日本婦人は家の内にのみ引籠り居れ共西洋の婦人は皆家外に出で遊歩運動等を致します、故に日本の婦人の體格は惡ひけれ共西洋の婦人の體格は良ふ御座います、私は追羽根の如き遊方を正月計りでなく平常にも爲されんとを望みます、又音樂は琴で有らうが三味線で有らうが、凡ての音樂遊びや其他双六等は坐敷の中で遊ぶ事で、極く優美なる遊びであります、又音樂は人の心を樂しくするもので社會上からも大變に利益が有る、故にお嫌ひなお方は致し方も有りませんが、此遊びは貴婦人方に極く適當して居ります、尤も音樂は運動すると云ふとは少しも有りませんが運動せぬと云ふ害に對する利益が澤山有るから利益を以て害を無くする事が出來まするから全體から見たならば利益が勝ッて居らうと思ひます。

之を總括して見ますれば正月の遊びは澤山有るが、家の中で遊ぶよりは門辺に出で遊ぶのが大變宜しい又其間に音樂抔を折衷して爲すッたならば、社會上にも衛生上にも好結果を得るで有らうと思ひます。私は實は今日は小兒傳染病の豫防と云ふ問題を主にお噺しする積りで有りましたが、まだ柳さんの御演説も御座いますし、只今本田さんのお話しも有ッて隨分時間が長くなりましたから是は又他日に讓ッて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今日は之れで御免を戴きます。

結婚と衛生との關係

宮下俊吉君演說

私も今日初めて本會に出まして、貴婦人方に見へるのは此上なき光榮であり升。故に何か有益な演說を致したいと存じまするが、是迄本會より雜誌の出て居る事も存じませず、就ては以前の諸君が何う云ふ演說をなされたかも知りませんから、今日私の御話し申す事柄も最早御聞になつて居るかも知れませんが、夫れは偏に既往の來歷を知らない故と御承知を願ひます。

私の演說は玆に揭げて有る通り「結婚と衛生との關係といふのであります。其意味は結婚を致せば衛生に何う云ふ關係を及ぼすものか、結婚したが身躰が强壯に成つて、生命を長く保つ事が出來樣か、或は結婚仕ない方が宜からうかと云ふので御座います。此問題は恰度鰻飯を食つたら、身躰の爲めに善からうか惡るからうかと云ふ樣な問題に成つて居るので有ります。と云ふに鰻飯も極く新鮮な物を適度に食べましたならば宜しう御座いますが、或は腐敗して居るものとか、又は左もなくとも度を過して食したならば忽ち健康を害するで御座います。「マレージ」も之と同じ事で、單一に健康の害になるとも、利益になるとも申されません。ソレ故先づ其利益得失を比較して見まするには、結婚した人と結婚しない人と何方が健康であつて、何方が長命するかと云ふ事を取調べなければならんが、之を比較するには何う云ふ所から材料を求めたら宜からうかと云ふに中々六ケ敷です。何故六ケ敷かなら今日迄充分に信を措く程の統計が出來て居りません故に、先づ日本では尼で御座います、女の坊さんを澤山に取調べました

なら、百人の中幾人迄は五十に成つて死んだが、七八十に成つて死んだとか云ふ結果が出て參りませう、併しながら夫れ丈では充分の統計と申す事は出來ません。何故なれば人々職業を異にして居る、尼さんのする仕事と人の妻君となつて居る仕事とはマルで違ひます、例之坊さんは(守るか否かは知らないが)肉食をしない、ケレども普通の人の妻となつて居るものは毎日肉食を仕て居る、唯食物計りでなく平生住居する家屋、着る物迄凡て今日の生活上に大變な相違が有る。加之ならず生れ付が丈夫に出來て居るか、弱いかと云ふ事をも比較しなければならんのですから、茲に百人の尼さんが有つて其中幾人病氣に罹つて、幾人壽命を保つたかと云ふ事を調査して、若し長命の者が多かつたとしても其丈では未だ結婚するよりも仕ない方が丈夫だとは言はれない、前申す通り生活上凡ての事が違つて居りまするから、夫れ丈の事柄を以て直ちに結婚して居る婦人に移す事は出來ません。夫故今日の所では、害であるとも、利益であるとも、確かな事は統計が無いから申されませんが、先ヅ一般の上より申せば男女兩性共に健康を保つにも道德を守るにも家計を治るにも結婚をした方が餘程利益が有ると申して差支あるまいと思ふのです。

先づ男子の方から申して見まするなれば、我々が學生をして居る時の心事は何う云ふ者であるかと云ふに、天地間に自分一己の考へより外は有りません、此處に金十圓持つて居れば、ソレで書物を買ふとか、牛肉を食べるとか、麥酒を飲むとか云ふ考へより外には何にも別に考へは無いので御座います、夫故知らず識らず酒を飲み過したり、或は朝寢坊をするとか云ふ樣に身躰の規則が少しも立つて居りません、乍併一度結婚をすれば其日から一家と云ふものが出來

る、一家が出來れば何うしても一家の規律を立てなければあらんから、寢起の時間を始めとし、其他凡ての生活の有樣が規則正しくなつて擧動が靜穩に成つて參ります。又道德上から申しても無論結婚をした方が宜しいので御座います。又業務の上から申しても、規則が立つて居れば餘程事が進んで參つて、獨身で居た時よりも事務が捗取ります。是れは男子の上に就て申すので御座いますが、女子の一身に就ては倘一層大いなる利益が有ります。今試みに二十四五歳になつてお孃樣で兩親の下に居るか、或は父兄の同居人となつて働いて居るとか、或は他の業に從事して居て、(其人は夫の無き者故元より子の無きは言はずして分つて居る)所謂未だ竈の無い者で御座いますから未だ少しも修身の目的が附て居ない、自分は生涯是れ〱の事をして果て樣とか、斯う〱云ふ事を仕樣とか云ふ目的が附いて居らん者は必ず快々鬱々として樂しからぬものです、然るに家政向きの事は婦人が指揮を仕なければならん、此家政の事を指揮するは、何んなに緻密な男子が何んなに細かく遣つても婦人程に能くは往きません、何故なれば大昔より婦人は家政の事に當る事に成て居る此性質か代々の遺傳に成つて家事を整頓するの一點に於ては遠く男子の及ばない事である。而して家を整頓すると云ふは婦人の性質に至極適當して居る、故に此事に從事する妻君となるときは餘程快樂か多くなります。ソレ故諸い方から申せば結婚は一ツの妙藥と云つて宜ろしい。偖て結婚すると決心して先づ其良人たるべき人と自分との位地を比較するに大抵相當であり、凡ての事が先づ平均を得た場合でありまして、結婚致したは宜しいが其後間もなく夫婦の中の一方が病氣に罹つたならば、何う云ふ結果が起るかと云ふ事を考へねばならん、今迄一身で病氣であ

る間は夫程關係が大く有りませんが、今良人が病氣に爲つて夫れが爲め起る所の不自由不幸は元より其人の身分に依つて違ひますが、例之ば中等以下の人であれば一家の生計上困難に爲つて來ると、其結果は何うなるかと云ふに、ソロ〳〵愛情が衰へて親睦が壞れて來る。男女の間の愛情親睦は貧富を以て左右せらるゝものではない、又ソウあつてはならない筈の者であるが、併しながら段々米櫃が空に成つて來ると自然と一家の中に口舌が起る、ソウ云ふ場合になると結婚したが爲め却つて雙方とも餘程困難をしなければならん、ケレども其病が一時限りで癒るなら左のみの大困難は有りませんが、若し生涯癒らん病で有つたら何うでありませう、其病が一方から一方に傳染する性質を持たなら何うで有りませう、またソレに止まらず子々孫々迄も傳染する病で有つたら何うで有りませう、其人々に取つては非常なる不幸であると云はなければならん。遺傳の事に就ては島村君が御述べに成りましたが、序に少し私の考へをも申しませう。

遺傳と云ふ事に就ては古より學者が非常に穿鑿を致したので御座いまして、先づ今日の所では遺傳性と云ふ事があると云ふ丈は、大躰確定して居りまするが、尚ほ不分明の所も澤山ある、全躰此遺傳と云ふ事に就て考へを下して見ますると、何れの人でも大躰は父母の中何れにか多少似て居らない者は殆んど無いと云つても宜しいです。ソして此性質は時としては非常に利益にある事も有り、非常に不利益になる事も有る。其利益になる事を實際に利用しつゝあるは牧畜家で御座います、今良き馬を畜うには「アラビヤ」より良馬を取りよせて其種を日本の馬の種に混るとか、又は良き牛乳が欲しい時は亞米利加產の牛を取り寄せて其種を日本の牛に混じ始めて良き

牛乳の出來ると云ふは、皆遺傳に因て生ずる利益である、啻に牧畜耕作計りでなく、古い歷史を見ますると、人間にも遺傳を活用した者が幾らも有ります、昔し淺利(義遠)と云ふ人は、何うか強い丈夫なる所の子を持ちたいと思つて、態々板額と云ふ女を妻にしたとの事ですか、夫れは何故かと云ふに板額は大力のある女故、此女を妻に持つたならば必ず強い子が生れるだらうと云ふ考へで有る、是れは則ち遺傳を活用したのです。其事の虚實は知りませんが古い歷史に載せて有ります、シテ見ると古の人が遺傳を活用すると云ふ事を知つて居つたと見へる。

次に遺傳の不利益なる事を申しますると大變有ります、曾て「シヤム」に於て顔面を始めとして、手足軀幹に至るまで全身一面に毛の生へた女か有りました、ソして其女が結婚した所が、恰度三代續いて毛の生へた人が生れたそうです。又「ロンドン」て見世者に出た女も全身毛だらけで有つたが、矢張り毛の生へた女を生んだと云ふ事が有ります。此等の事は「ダルウイシ氏の著書を御讀みになつた御方は御承知で御座いませう。又前足二本丈で後足の無い豚が居つた處が其豚から三代續いて二本足の豚が生れたと云ふ事が同じ書物に載せてあり升。又そんなに古い時代の事がらを探索して參らんでも各自の家で毎日經驗する事が出來る、例之ば一人の大酒飲みが有れば其人の子も同じく大酒飲みであるか、(併し一樣には申されませんが)酒好の人になります。併し是等は皆生れ付得た所の性質であるが其外自分が此世に生れた後怪我をして、夫れが爲め不具になつた事も稀には遺傳すると思はれます、「ブラウンセカール氏」の報告に依ると「モルモット」と云ふ動物の神經中樞の或る部分を傷けました所が、顔と首の毛が殘らずぬけて仕舞つた、ソーして其所を刺戟すると癲癇樣の

發作を起し少しも異物の辨別が無くなつたそうです。人ならば人事不省と云ふ有樣です其「モルモット」の子が矢張り同一の生質を以て生れました即ち顏と首とに毛が無い、ケレども子の代に成つて少し變つて來たのは、其部分を刺戟してゞ癲癇を起す事は有りません、併し刺戟も何んにも仕ないで、自然の癲癇を起すと云ふ事が子供の方に傳播したと云ふ事で有ります。夫れから「プロスヘルラカス」と云ふ人の報告に依ると、或る牝牛が右の角に怪我をしてソコが化膿て取れて仕舞つた、ソして其牛が子を生んだ處が矢張り右の角が無かつた、再び其犢か妊娠して三度生みましたが、其犢は同じく角の無い子が生れたそうです。

次に人間に就ての報告は、或人が小指を少しブラ〳〵する位いに切りました所が、其三人の子供即ち女子二人男子一人、皆同じ樣に小指が曲つて居りました。今一ツは或る兵隊が結婚する十五年前眼病をわずらつて遂に其目を害しましたが、其人の子に全く眼球の無いでも有りませんが、極く小さい迄ても物を見る事杯は出きない目を持た人が生れたそうです。

斯う云ふ樣な例が澤山有りますが、夫等の事は偶然に起つたにしろ、行つたと云ふは事實で御座います。實に右の如き生涯の中に得た傷すらも、遺傳する性質を以て居るとすれば、病氣が親から子に傳はると云ふは、決して疑はしく無い事と云つて宜しからうと思ひます。夫れならば親の病氣が子に傳はるには何う云ふ方法によるかと云ふ事をも研究しなければならん、高等動物の播殖するには必ず御承知の如く精虫と卵子二つの物か合躰して起るに相違ない、然らば此二つの物を撿査して見たら一番早からうと云ふ考へが起る、併しながら人間のソウ云ふ者を取り

出す事は迚も出來ません、故に他の動物に就て試驗した事が有りますが、コレには少しも變つた性質を發見する事が出來ません。時としては病氣が直ちに子孫に傳はるのでなく「ディスポヂシヨンDisposition」と申して其病氣の下地即ち素因を遺傳する事が多分有る、例之ば先刻島村君の述べられた樣に、生れ付き狂人でなくても狂人となるべき素因を持て生れる、之と同樣で生來肺が惡く生れなくても肺勞に爲る下地を持つて生れる者が最も多數を占て居ります。夫れから子供が尙ほ胎內に在る中に直ちに感染する病氣がある、夫れは何う云ふ病氣であるかと云ふに、麻疹、痘瘡、回歸熱幷にコレラ抔と云ふ樣な傳染病であるが是は直接に親から子に傳つても遺傳ではなく感染と云ふ者です。

夫れから毒性の物が直接に親から子に傳はります。殊に太甚だしきは慢性の鉛の中毒で子供の死ぬ事が澤山あります。「タルドユウ」と云ふ人の報告には、巴里に於て鏡製造所に使役さるゝ工女の中に百四十一人の姙婦が居りましたが、其姙婦の內鉛の中毒に因て流產をしたものが六十二人あつたそうです。又別の所ですが矢張り鉛を以て働いて居る工女の生んだ子が百人ある、其中一年未滿にて死ぬものが八十五人であると云ふ事が出て居りましたが毒物抔でも親から子に遺傳すると云ふ恐れが有ります、併しながら此中毒であるとか麻疹痘瘡等の感傳は誠に偶然の事であるから是等は左のみ恐怖するにも及びませんが、確かに遺傳する性質が有つてソして尤も劒呑な病氣の一二を擧て見ますれば、先づ第一に梅毒で御坐います……實は梅毒抔の事を述ぶるには勢ひ卑陋の事をも申さねばならぬ故貴婦人方の御集りの場所で述るのは、チト失敬でもあり又述べたくもありませんが、素より衛生と云ふものは水晶宮の樣な

奇麗な所から生れて來たのではなく、極々汚穢い所から出て來たので有りますから、汚い事を申すのは已むを得んので御座います……、此梅毒の子孫に傳はる手段は、父から母に傳はりソレから子に傳はるのと、或は父の病氣が母には感ぜずに直ちに子に傳はる事も有ります、ソウ云ふ場合には母親は子を生む迄は梅毒の性質を持つて居りませんで子供に乳を哺せる時(乳を哺せる時斗りには限りませんが)乳房に傷が出來て其處から毒を受ける樣なとも有ります。又男子から女子に傳はり、女子から胎兒へ傳はりましたならば、如何なる結果が生ずるかと云ふに姙娠に成つてから大躰四ケ月或は五六ケ月の中に流產をして仕舞ひます、モ少し幸福の場合で有りますると、何うか斯うか月がみちて子供が生れる事は生れても唯息をして居る丈けで、非常に弱い子で御座いまして、終にはソウ云ふ子は疲勞の爲めに死んで仕舞ひますが最も多う御座います。尙ほ其上一層の仕合な場合には其子が漸々成長して外見では隨分健康の樣に見へても、十年十五年の後に至つてフトした事よりして非常に重い病が起る、極く晩いのは晩發性梅毒とて二十年も經つて始めて出る事が有ります、梅毒は斯く恐るべき病で有りますが、それよりも尙一層恐ろしいのは「肺結核」昔しの言葉で申せば「勞咳」と云ふので御座いますが、此病に罹れば大抵は不治の病であるから、攝生と治療が十分に行屆て先づ三年又は五年の壽命を僅か二三年位も延す事は出來ますが、充分に肺に惡い所の出來て仕舞つたのは壽命を延す事もできません。肺勞と虎列剌或は他の流行病に罹つて死ぬものとの數を比較して見ますると、肺勞で死ぬ者の方が遙かに多う御座います。肺勞の爲には殆んど人間の七分の一死ぬと云つても差支へない、肺勞に遺傳する性質の者は、百人の中幾人あ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るかと云ふに龍動府の「ブラントン」病院で取調べたのには、肺勞に罹つたもの一千人の中兩親よりの遺傳に相違ない場合か二百十八人御座います。又セラドル、ウヰクヤム氏は四百八十四人の肺患者の宗族履歷を取調べました所が、祖父母の中に肺勞に罹つたものが有つて親には傳はらず、即ち一代越へて孫の代に始めて顯はれたのが十八人、父から子に傳はつたのが四十三人、母から子に傳はつたのが六十七人、父母共に肺勞に罹つた者が十八人、叔伯父母の同病に罹つた者が四十八人兄弟姉妹の同病に罹つた者が二百二十四人で御座います、先つ今日では父母の中何方か肺勞で有つたならば、其子供は少くとも百人の中三四十人は同病にかゝると云つても差支へない。肺勞が親から子に傳はるのは、何う云ふ方法によるかと云ふに、病氣自個を直接に親から子に傳へると云ふはチト疑し、今日の學問上にては肺勞を生ずるには必ず獨逸の大家コッホ氏の發見に係かる結核バチルスを要するです、若し兩親の中の一人肺勞に罹つて居て其病毒が精蟲か或は卵子の内に混りて居て懷任するならば子供は已に胎内に在る中に死んで仕舞うか、或は遲くとも生れて後二三ケ月の中に同じ病を發しなければならん笑である。然るに肺勞に限つては小兒には極く少ない、男子でも女子でも身體の一變する秋則春情發動の時期に發するのが、最も多い、然るに若しも肺勞は細菌の遺傳に依つて起ると云ふならば、其細菌十五六年の間死なずに居ると云はんければならんが「コッホ氏の結核バチルス」はソンなに長く生きて居る者ではない、ソウして見ると矢張り身體が弱くて本病に罹り易い素因を遺傳すると申さんければならん。此素因ある人も極く小兒の時には判然と解りません、唯少し營養が悪いとか、艶が悪いとか顏面におできが出來るとか、頸部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にぐり〳〵が出來るとか云ふ樣な性の人が七八歳に成つて麻疹、百日咳抔にかゝると丈夫の子供ならば、輕く癒る病氣であつても容易に癒らない、其中に漸々肺の病氣が出て來て死んで仕舞ひ升、若し助命かつても十七八歳になつて……（此處が私の餘程注意して聞いて戴きたい所です）日本で所謂埋想の美婦人とて顔が細おもてゝ頸が長くて胴がスラリとして支那人ならば柳腰とか細腰とか云ひそうな腰の細い人が出來上り升、其人が一たび歩を移す時は蓮歩と云ふて極々品やかな歩き方をする、是れが日本古來より稱へる所の眞正の美婦人で御座いませう。然るに此美人を我々醫士が一室に連れて來て着物を脱して見ると何うでせう、頸の廻り鎖骨の上にも下にも大きな穴があいて居る、夫れから肋骨と〳〵の間が隙て居つて、四肢の肉が少ない即ち我々醫士が見ては丸て骸骨の上に鳥渋と皮膚を被せたとしか思へません、斯ふ云ふ人と結婚したならば、其子供は必ず弱いです。又斯う云ふ美人にはコッホ氏の發見した所の「バチルス」が非常に好んで少し病氣にでも罹るとすぐに飛び込んで來て忽ち肺勞を起す。肺勞に罹ればコップを枕元に置いて、一年中コホン〳〵と咳斗り出て誠に樂しからぬ月日を送つて、三年或は四年の中に死んで仕舞うナンと實に恐るべき病では有りませんか

先刻肺勞の素因ある人は同病を受け易いと申し升たが之を感受するは必すしも素因ある人に限るものではない、シテ見れば素因が有つても必ずしも本病に罹らねばならぬと相場が極つて居ない、隨分本病を豫防する事が立派に出來る。故に腺病質で色が蒼白で「おでき」の出來た「グリ〳〵」の有る小兒は何の樣に處置をしたならば宜からうか、隨分所置の如何に因つては十分健康の人にする事も出來ます、併し其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

方法を申すと餘り長くなりますし小兒の衛生は今日の演題にありませんから申上ませんが、梅毒と結核とは何う云ふ方法を以て、防いたなら宜しからうと云ふ事を皆さんに御相談したいと考へる。先づ梅毒の方から申しまするど、男子にせよ女子にせよ梅毒の有る者は社會の外に放逐して仕舞つて交際しない樣にしたならば、余程都合が宜しからうと思ひますが、ソンな事は云ふべくして行はれ難い事で有ります。夫れならば結婚する際に男子も女子も、此人は健康で有ると云ふ確かなる醫師の書付を取り替す樣にして、若し其書付の無い時は結婚しないと云ふ樣にしたならば宜しからうが、夫れも中々難い事と考へる。矢張り云ふべくして行はれないから夫れに付き私は貴婦人方に企望する事が有ります、既に御結婚なすつた御方は御子息さんも御有りでせうし、是れから御結婚なさる御方は第一に御注意を願ひたい。

夫れは、外の事は暫時措き其良人たるべき人即ち其候補者が丈夫そうか丈夫そうでないかと云ふ事に、從來の百千倍も御注目を戴かねばならんと思ふ。既に十分の御注目が有りまする以上は惡病の血統であるか否かと云ふ事に、非常の價値を置いて戴きたい。方今の勢では只某大臣の秘書官であるとか、奏任官幾等で有るとかと云ふ身分柄職分丈に皆さんが注目なさるが、是は勿論の事なれども身體の健康と云ふ事にも大なる權衡を置いて戴きたい。是れらの事は態々申さんでも、立派な例が幾らも有る例之ば官公立學校にて生徒を募集する時には、學問の試驗をする前に體格の試驗して、此生徒は五年なり七年なり勉強するに差支なき體格を持つて居るか如何と云ふ事を見ます。兵士を募るにも矢張り其通りである、況して自分の良人とする人なれば生涯苦樂を共にしなければならんものである、然るに其人の地位に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のみ注意し、身躰の健康不健康には少しも考へ及ほさないと云ふは最も不注意千万の事と考へます、故に此結婚と云ふ事柄は初めより申す通り、或場合即ち男女共に健康で、双方共に相當の身分であつて愛情が相投じて居りましたならば非常に衛生に利益があり升、然るに其一方が遺傳性の病を持つて居りましたならば、徒に其人だけが不幸に陥るのみならず、其人よりして子孫に及ぼし段々其種族が蕃殖すれば遂に世の中に柔弱な人が多くなりて、詰りは一國を弱くするの結果に至ります。斯る場合には結婚は衛生の一大障碍物であり升、故に結婚は猶鰻飯を食ふが如しと申したのです。是れが結婚と衛生との關係に就ての愚見で御座います。

序でに私は本會の會員諸君に企望する事が有ります、素より其言の用いられるか、否かは知れませんが、一つ申して見ませう。彼の英國著名の大政事家「サスレリー」が「マンチエスター」の衛生會で申した事が有る、「我大英國を盛に仕やうと思ふには衛生の普及を計らんければならん、衛生の普及を計るのは如何にしたら宜からうと云ふに、自分の考へでは七面倒臭い法律を雨の如く出した所が仕方がない、夫れよりも人々をして衛生と云ふは何ふ云ふ事であると云ふ事を了解させるが第一であると、成程「ジスレリー」の云はれし通り、法律丈では實際左程利益の無い事が幾らも有ります、例之先年瑞西國政府では種痘を仕なければならん、種痘済の證書がなければ、官私立の學校に入校させる事はならんと云ふ法律を出した事があつたが、其事は終に國會の議題となり遂う／＼廢止して仕舞つた。日本で申して見ますれば衛生局で「傳染病を發したら直ちに屆け出よ」と云ふ事は一般の公衆に達してある、そして其屆け出た數は衛生局長が官報に登録して置きます。併しなが

ら官報に出て居る數を以て、洩らさず登つて居ると思つては大變に違ひます。其中何程屆け出ない者が有るか知れません。殊に傳染病を掩ふのは、上等社會下等社會に多い、何故上等社會に多いかと云ふに、醫師が診察をして是れは傳染病の樣じやと申すと主人公は「イヤ左樣ではあるまい」と云つて甚だ不機嫌の顔をする。ソコで竹庵居士が考へた、待てよ强て傳染病だ抔と云ふと自今以後再び此家に來る事が出來なくなる、如かず、主人公の意を迎へて爲めに陰蔽して仕舞ふにはと、又下等社會の貧乏人抔は例之ば腸窒扶斯が起つたなら之を屆けんては往かんと云ふと、「屆け出ても宜しい、ケレども大變です、お巡査さんお出になつて、靴の儘で病處に入り、コリや病人は別な室に置け、便所も別にせよと云つて夫は〳〵一から十までの御干渉、成程此席に御出ての貴婦人方は御取り置きの御房室が幾らも有りませうが、客間も食堂も寢所も臺所も唯一室と云ふ樣な貧民が、今ま別室か必要じや別な厠でなくちやア往かんと言はれたら何うで御座いませうか、夫等の事に深く干渉しすぎると、却つて傳染病の屆け出が少くなる樣な事がありますから、法律を以て普及を計ると云ふは中々難い事である。然らば公衆衛生を盛に仕樣か、公衆衛生は御承知の通り水を分析するとか、牛乳の分析をして不良の牛乳を賣る事を禁ずるとか又は肉には寄生物が這入つて居るとか、或は病の牛、豚であるとか云ふ事を確めるのは、公衆衛生の一二の仕事である。斯くの如く公衆衛生の法は出て居りましても、若しも一家の女王たる所の奥さん其人が衛生の事を御存じなかつたなら、折角他の人が苦心して淸水を導きても無暗の水を飲むときには下痢を生ずる事が有る、立派な獸肉や、牛乳が有つても凡て諸事整頓して居ても、奥さん其人が割烹術を御存じな

いと折角買い肉を腐敗させて仕舞う。彼の世話に所謂芋の煮たも御存じないと云ふ様なお方が有りましたならば、公衆衛生の注意もマルで無駄と云はなければならん、故に貴婦人方を始めとして、家を治める所の人は先以て一家の衛生に充分注意し夫れが漸々盛に成つて來たなり公衆衛生も眞に利益が有りませう、ソウならん間は幾ら衛生局長が骨を勞られても、利益は少なからうと思ひます。

ソコで私の企望は（全躰私は此會の事は能く存じませんが）此會の最後の目的は定まつて居りませうけれども今日の所毎月二三の人が出て演説するに止まつて居つて一ッの問題を定めて置いて其題に就て御考へなさると云ふ様な事は少しも無い様に聞き及んで居りますが。自分の考へては一家の衛生と云ふ事は一番大きな問題にして置いて、斯う云ふケ條は何うであらうか、此事は次の開會の日迄に考へて置とか、或は一ッの研究會の様な者にして、演説でなく講義にして仕舞ひましたならば、余程普及が早からうと思ひます。高等女學校抔で頻りに高尚な六ヶ敷い事を敎へて居りますが、夫等の事は次にして衛生と云ふ事を敎科の中に加へて敎へましたならば漸々と衛生が普及して參るであらうと思ひ升。此事が普及して參ると、衛生的から見て何處迄も買ひかぶりの無い眞個の理想の佳人が日本國中に満る様になるであらうと思ひます故に一言を呈し升。

書中抜萃

○今般内務省ニ於テ改正ニナリタル傳染病豫防心得

腸窒扶私

腸窒扶私ハ其病毒ヲ患者ノ瀉下物中ニ含ク虎列剌病毒ノ如ク不潔汚穢ノ土地ニ蕃殖瀰漫シ廣ク流行ノ勢ヲ成スモノナレハ其豫防ノ方法ニ至テモ虎列剌ト略々其趣キヲ同フス抑モ本病ハ六種傳染病中最モ多キ疾病ニシテ各地方年々其患者ヲ發生シ流行ノ尤ケ見ザルコトナシ明治十三年傳染病豫防規則頒布以來十年間ノ患者三十一万餘死亡七万餘ノ多キニ及ヒ加フルニ流行時期ノ長キ病毒經過

過ノ久シキ従テ公衆ノ安全幸福ヲ損害スルニ至テハ却テ虎列剌ヨリ甚シキモノアラントス故ニ本病流行ノ兆アルニ當テハ速ニ充分ノ力ヲ盡シテ之ヲ撲滅シ併セテ第二ノ流行ヲ豫防センコトヲ怠ルナカランヲ要ス

第一條　腸窒扶私又ハ之ニ疑似セル熱性患者アル家ニ於テハ左ノ豫防法ヲ守ルヲ要ス

一患者ノ居室ニハ無用ノ交通ヲ絶ツコト
二患者自宅ニ於テ消毒看病行届キ難キモノ及患者若クハ家人ノ望ニ依リテハ避病院或ハ適當ノ家屋ニ移シテ治療ヲ受ケシムルコト
三患者ノ居室ハ常ニ掃除シテ清潔ナラシメ斷エズ空氣ノ流通ヲ良クスルコト
四患者ノ糞便ヲ取扱フニハ其人ヲ定メ置クコト
五患者用ノ便器ハ蓋覆ヲ具ヘ且ツ滲漏ノ虞ナキモノヲ選ミ豫メ之ニ適宜ノ石灰乳又ハ生石灰若クハ石灰酸水ヲ入レ置キ糞便ヲ承ケタル後ハ更ニ前記ノ消毒藥ヲ灌ギ所定ノ便所ニ移スコト
六患者ノ上リタル便所ニハ少クモ糞便量十分一ノ石灰乳五十分一ノ生石灰若クハ五分一ノ石灰酸水ヲ灌ギ（成ルベク能ク攪拌スベシ）爾後患者ノ上ル毎ニ前記ノ消毒藥ヲ灌グコト
七患者ノ用ヒタル衣服、臥具、敷物、飲食器其他看病人ノ衣服等總テ患者ノ糞便ニ汚染シ又ハ汚染シタル疑アルモノハ之ヲ取纏メ適當ノ容器ニ入レ置キ消毒法ヲ行フコト
八患者ノ身體、糞便及ビ之ニ汚染セルモノニ蚊蠅等ノ集マラサル様注意シ又患者ノ居室ニ蚊帳ヲ張ルトキハ其蚊帳ノ糞便ニ汚染セザル様注意スルコト
九看病人ハ其衣服ヲ患者ノ糞便ニ觸レサル様注意シ且其糞便及ビ之ニ汚染セル物品ヲ取扱ヒタルトキハ直ニ石灰酸水又ハ昇汞水ニテ手ヲ洗ヒ更ニ淨水ニテ洗フコト
十患者ト居ヲ同フスル者ハ特ニ飲食物ニ注意シ飲料水ハ必ズ煮沸セザレハ之ヲ用ヒザルコト

第二條　腸窒扶私發生シタルトキハ病家近傍ノ各家共同シテ左ノ豫防法ヲ守ルヲ要ス但衛生組合ノ設ケアル地方ニ於テハ衛生組合長ニ於テ豫防法ヲ各家ニ告知スルヲ要ス

一患者アル家ト成ルベク交通ヲ爲サヾルコト
二病家ノ井水ヲ他家ニ於テ共用セザルコト但已ヲ得ザルトキハ煮沸シテ後之ヲ用フルコト
三芥溜ヲ掃除シ病家ヨリ流ルヽ下水ノ溢流滲漏ヲ防ギ且下水ノ破損セルモノハ速ニ之ヲ改修スルコト
四飲食物ハ成ルベク熟煮シテ之ヲ用フルコト
五總テ熱性病ニ罹リ又ハ下利ヲ發シタル者ハ速ニ醫師ノ治療ヲ受クルコト

第三條　腸窒扶私患者續々發生スルトキハ其市町村ニ於テハ左ノ豫防法ヲ施行スルヲ要ス

一芥溜ヲ掃除シ下水ヲ浚渫シ破損セル井戸ハ之ヲ改修スル等一般ニ清潔法ヲ施行スルコト
二路傍便所及共同便所ニテ日々生石灰乳ヲ撒布スルコト
三醫師ヲシテ貧民部落ヲ巡診セシムルコト

第四條　前條ノ場合ニ於テハ醫師市町村吏員等ヲ以テ便宜豫防委員ヲ設ケ消毒ノ方法ヲ綿密ニシ且其委員ヲシテ各家ニ豫防法ヲ說示セシムルヲ要ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

赤痢

赤痢ハ其病毒ヲ患者ノ瀉下物中ニ含リ之ヨリ傳染スルモノニシテ病性大ニ腸窒扶私ト類似スルモノナリ故ニ其豫防消毒ニ於テモ多ク腸窒扶私ト同一ノ方法ニ據リ而シテ流行時ニ於テハ瀉下物中ニ血液ヲ混セサル患者ト雖モ本病ト同様ニ取扱フヿヲ要ス

抑々本病ハ腸窒扶私ト同シク頗ル慘毒ヲ逞クスルモノニシテ明治十三年以來十年間ノ患者數殆ト二十万ノ多キニ及ヒ殊ニ九州四國ノ諸縣ノ如キハ年一年ニ流行ノ勢ヲナシ病毒漸次ニ全國ニ浸淫セントス故ニ本病ノ年々發現スル地方ニ於テハ土地ノ清潔ヲ力メ殊ニ飲料水ニ注意シ下水ヲ浚渫シ發病時ニ當テハ撲滅ノ方法ニ充分ノ力ヲ盡シ尚第二ノ流行ヲ防ク等總テ腸窒扶私ニ於ケルカ如クナランヲ要ス

（以下次號）

精神病の原因並に其豫防法に就て

島村俊一君演説
大澤豊子筆記

私は島村俊一で御坐います、一昨日榊さんから御咄しが有りまして、……榊さんは今日何か公用で止むなく出席し兼ぬるから、代りに私に何か御咄しを申上るやうにとの事で御座いました。夫故私は今日此處に參りまして、初めて皆さん方に御目に懸るの幸福を得たので御座います、此後とも末永から御見知り置きを偏に冀ひます。

偖私の今日御咄しをするのは精神病の原因並に豫防法と云ふので御坐います。乃ち狂人に爲りまする處の理由、幷に爲りません様に防ぐ所の方法に就て、極く僅か許り御咄しを仕樣と思ひます、一體精神病を起す原因は澤山御坐います、夫故一々お話しをする事は出來兼ねますから、今日は極く大略をお咄し致す心得で御坐います。

先づ其初めに精神が變ッて發狂する原因に就て御話しを致しますが、精神病を起す原因を大別して見ますると、遺傳、誘引の二つが有ります。遺傳と云ふは何う云ふもので有るかと云ふに、是れは遠く人の血統に在る者で御座います。又誘引と云ふは、其人が遺傳を持つて居るか或は持ちませんでも、何か狂人に成りまする樣な理由の有るのを即ち誘引と名づけ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ますので御坐います。夫れて遺傳の法に就て御咄しを致しますが、遺傳と云ふは中々大切な者で余程注意を仕なければならん事で有る、何故なれば若し其病に罹る人、則ち發狂しまする人が、遺傳を持つて居りまする時には僅かのとでも隨分發狂するとがあります而して若し病を起しますと到底癒り難いと云ふは皆信じて居る事で有りまする。夫れに反して遺傳が有りませんと其病に罹るとも少なく又た罹つても癒り易いものです夫れゆゑ此遺傳の事に就ては余程注意を加へて置かなければなりません。

遺傳と云ふ事を委しく御咄しすれば、假りに此處に一人の發狂人が有るとして、其人の兩親、或は祖父祖母の中に發狂した者が有るとか、乃至は祖父母に有りませんでも曾祖父母の中に有つたとか、又は兄弟姉妹の中にあつたとか凡て己れの血統の者に發狂した者が有れば、即ち其人は遺傳を有して居る者である。凡て今御話ししたのは氣狂に就ての事で御坐いますが、氣狂ひに爲る原因の内にて遺傳と云ふ者の中には單に氣狂ひ計りでは無く、其他の病も含んで居ります、如何となれば發狂すると云ふは、只に精神の狂ふのと其の他に、身體の病殊に腦脊髓等の病の爲めに氣の狂ふ事も有ります、夫れ故精神病で無くとも腦病又は脊髓病に罹つたものが血統に在りましたならば、矢張り其人は遺傳を有して居るものと申さなければならん。斯樣に委しく探して參りまして、若し自分の血筋の中に氣の違つたものか、若しくは夫等の病に罹つた者が有つたならば、余程注意を仕なければならん、此事に就て豫防法を行はなければ其人は時に因ると狂人に爲ります。併し遺傳の有るを豫防すると云ふは余程六ケ敷い事で有る故に今日の處で必要あるは後ち後ちのとを思ひ、己れの最も愛すべき處の子孫の代に於て、遺傳を絶やす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

樣に考へねばなりません。故に若し自分の代に遺傳が有りましたならば、其子孫の爲めに豫防を仕まするに就ては、結婚上夫等の事の穿鑿を遂げなければなりません、ケレども日本では未だ左樣な所にまでは注意が至つて居りませんし、又一方から考へれば縱令其血筋に狂人が有つたとしても、其事は深く秘して少しも咄しを致しませんから、結婚整つた後ちに始めて狂人の血統たる事を知ると云ふ樣な工合で、最初に此事を穿鑿すると云ふは中々六ケ敷い事では有りますが、充分に調査して精神病の遺傳を血胤に遺さない樣に注意しなければならんと思ふ。精神病が遺傳して來ると長く其家の血統を繼かせたいと思つても勢ひ續かなくなる、現に田舍抔に行つて見ますると其家が代々發狂するとか、又は不具であるとか、痴鈍であるとか云ふ時は、以前は隨分大家で在つたが全く其家の絕へて仕舞つた抔と云ふ事が有りますからして、結婚の事抔は只人に委ねて置く斗りでは往けません、充分穿鑿して後の事を計らねばならんと思います。

然らば遺傳も後の世には前の如くにして防げるが、今假りに私が遺傳を有して居る故、發狂仕はせんか仕ない樣に防ぐのには何うしたら宜からうと、此豫防法に就ては則ち誘引が最も必要であります。夫れで誘引を大躰に區別して見ますれば、精神的の誘引と身躰的の誘引と二ツ有ります、則ち心持ちから起す事も有ります、又始め心持ちは格別變らんでも身躰に病が有つて夫れが爲め心持に變化を起す事も有ります。又精神的誘因の中にも男子には其原因が澤山有りますが、御婦人方は多く凡ての事に就ての心配が原因と爲る樣に思ふ、其心配の中にも巣鴨病院に居ります婦人の患者に就ての經驗でも家計困難なるより非常に心配し、遂に發狂したのが最も多く有

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ります。併しながら此會に御出の皆さんには、夫れ等の事には更に懸念の無い事で御座いますから、夫れは偖措きまして貴婦人方に最も御注意を願ひたいのは家内の事に就ての心配である、例之ば良人について非常に心配をするとか、或は父母養母の爲めに心配するとか總て相互の間に於て、殊更苦心をいたしますと、遺傳の無い者すらも病を起しまする者である故、況して遺傳を有して居る者で御座いますと直ちに精神病を起す樣な不幸に陥りますから、能く注意しなければなりません。

又精神的の中で傳染と云ふ事も注意しなければなりません、親類抔に發狂した者が有ると場合に依つてはいやながら看病しなければならんが、其時に看病に往く人が遺傳を有して居るか、又は俗人が見ても病に感じ易い性質の者で有るならば、其人は成る丈け遁れて夫れに代るの人を遣つて、看護をさせる樣にしなければならん。何故なればソウ云ふ人は感じ易き事、恰も自身に流行病の下地の有る人が夫れに感じ易いと同じやうに、精神病にも感じ易いものです、夫故是等の事も注意を爲すつて豫防しなければなりません。

第二には身體的の誘引であります、是れも種類が澤山有りますが、一番關係を有して居るのは、腦病或は脊髓病で有る。腦病と云ふのも精神のくるつた斗りでは御坐いません、頭痛がするとか腦の爲めに眼の方に害が來たとか、耳鼻等に障りが來たとか云ふ樣に腦の病に罹りました時又脊髓病とて脊骨の中の病に罹つて居りまする時には、余程注意をして成るべく早く療治を乞ひ精神病を起さん樣になさらんといかん殊に御婦人で御注意なすらんければならんのは、十歳以下の者は先づ措きまして、十三四歳以上十五六歳の者に就て御咄しを致しまするが。女子の

十五六歳は則ち春氣發動期と云つて、身躰の一變する時である、男子は主に喉頭の變化を起すだけのやうに考へますが、婦人は此の時期に際しまするど、身躰がマルで變つて仕舞ひます、而して其變じまする當時まで有りません所の現象が顯はれて參る、則ち月經と名けます、此月經には余程精神の關係を持ちまする事故、充分に注意を仕なければならん、現に御婦人に依りまするど醫師から咄しませんでも月經の時幷に其前後には多少神經の變ずるのは御承知であります健全なる身躰で有りましても精神には多少反射的の害をなします。夫故若し此時に充分に注意を致さんで居るとか、又は其人が精神病を發すべき血筋を有して居りましたならば、僅か斗りの感動で御坐いましても、随分精神病を起すような事があります又た月經は塲合に由と不順になる事もあり、其時痛みを感ずる事もある。随分變化ハ起り易い者で有りますから、若しも平常に異つた事でも有つた時には、然るべき者に依頼して其調和を計らんければならん、等閑に致して置きまするど、實に恐るべき病を惹き起します。此月經の變化から致して其際多少に感動を受け、爲めに發狂をした者が有るので御坐います、茲に私の見ました患者の寫眞二三葉を持つて參りましたから御退屈ふせぎに皆様方の御覽に入れませう。(寫眞を示す)只今御覽に入れた寫眞の狂人は一人はヒイステリイ、一人は騒狂と云ふので御坐いますが、其發狂の原因を探つて見まするど、殆ど今御咄し仕た様な事から來たので御坐います。ソウ云ふ氣狂は醫師が月經の工合を能く致しまするど、從つて精神病も癒ります事が間々御坐います。夫れから其後二十歳前後から注意しなければならんのは、彼の妊娠産褥分娩です、是れは御婦人方に取つて最も大切なる、最も困難なる時で御坐います、

此時は精神の病を起す斗りでなく等閑に致しますると遂に身躰の病を起して、到底快く此世を送るとの出來なくなると云ふ事は言はずして知た事である。

又妊娠中精神病に罹らんやうにするのは、先づ第一に身躰を健かにしなければならん。何故なれば精神の病も基く處は身躰に足りない所であるから起るので御坐います、ソレ故衛生上能く注意しなければならん。月滿れば安々と樂に成る身躰を持つて居りながら、輕卒を致して一生を過るやうな事が往々有ります。

夫れから分娩致しまして一二週間は最も大切で御坐います、此時は身躰が勞れて居りまするから、時に因ると恐るべき産褥熱と云ふ熱病に罹り譫語を發する樣な工合に爲ります、又夫ばつかりでなく僅かのとで精神病に爲ります、故に此分娩時期にも注意しりければならん。二十歲以上は妊娠產褥分娩等に最も能く氣を附けねばなりません。夫れから年を取つて老年期に達しても。矢張り預防しなければならん、健全な者で御坐いましても、老人は若い者に嫌われるは何う云ふ譯であるかと云ふに口喧ましくなると云ふが一ッの原因である、此口喧ましく詰らん事にも叱言を云ふ樣になるのは、モウ少し精神の間違ひかゝつて居る一ッの印であるので御坐います。而して病の發しまする時には老耄狂老人狂なぞと云ふ氣狂に成るので御坐いますから、老年期に達しても矢張り氣狂にならない樣に豫防を仕なければならん。

此豫防は一ツは身躰を强壯にして、余り世事に關係せず若い者にも詰らぬ叱言を言はない樣にして、自分で自分の精神を慰めて居る樣にすれば宜しいので有ります。

是れが御婦人の若い時より老年に達する迄の精神病の豫防の極く大略で有りまするが、此外に「アルコ

ール」を含んで居る飲料又たは煙草等を余り食らん樣にするが宜しい、日本には余り無い樣で御座いますが、煙草を澤山吸つて夫れが爲め氣の違ふ樣な事も有ります、故に是れも充分注意して置かなければならん。夫れから「アルコール」を含んで居るもの（日本では酒屠蘇等で御座いますが）是れは御婦人方は余り食らんから、別段御咄しを致しません。又茶を過度に飲みますと其中に含んで居る者が精神を變じさせまして、若し茶を過度に食る人が氣狂になる性質を有して居る時には、茶の爲めに氣の狂ふやうな事が有りますから、茶も余り多く飲まん樣に注意しなければならん。

先づ御婦人に附ての豫防法に於てハ大躰は夫等の箇條で御座います、又十歳以下則ち小兒期に必要なる原因及び預防法に就きまして御話しも致し度く存しますが長き時間を要しますから今日ハ是れにて御咄しを止めまして何れ他日のことと致します（完）

○寒中衛生法

寒氣甚しきを以て六疊間に三四人も閉ぢ籠り各互燵を一とつ宛抱ひて寢やの温度を高め太甚しく沸騰を重ね衣服を重ね着するはよろしからす加ふるに燦爛たる洋燈より發出する炭酸量は實に夥しきが故に頭痛眩暈等を牽き起し爲に傳染病等に感染する事あり人能く飲食の謹戒すべきを知て生命に緊要なる通氣法に至ては却て之を忽にす假令は人飲食を絕つと雖とも二週間位は生命を保存するを得べし故に新鮮なる空氣は食物に同じけければ寢屋の熱度も終夜華氏寒暖計六十度を適當とすべく矢鱈に沸騰衣服等を重ぬるハ直接間接に身躰を害する事多ければ成るべく輕くして暖きものを纒ふべし運動を爲すには風の吹く日になすべからす毎朝冰浴するは身躰に利あれと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も虚弱の者ハ寒水を灑ぐべからず但鹽を和したる水を以て腹部胸部手足を摩擦するハ尤も健康に益ありあらき乾きたる手拭等にて毎朝躰を摩するも亦宜し牛乳は尤もよろし朝起る前に小さきコップ一杯を飲むをよろしとす食物は成るべく消化し易きを撰ふべし肉類は柔かなるを貴ぶ魚肉鳥肉もまたよろし食事の間にレモン水などを用ふるも可なり避寒の場所はよく醫師に問合すべし决して酒を用ふるなかれ一時は快ことを覺るも終には非常の害を蒙るに至らずんば止まざるべし

小兒に牛乳を容易く飲ませる法

○母乳の不足したる場合に於て、牛乳を以て之に代用することは世上一般に行ふ處なるが、動もすれば小兒はこれが臭氣を厭ひて、少しも口にせざることとあり、かゝる時には乳汁に少許の食鹽を和して與ふれば能く飲み付くものなり、然れども餘り多くの食鹽を和して與ふれば小兒の胃を傷ふの恐れあれば、其分量を節するは肝要の事なり、乳汁不足を憂ふる方は幸ひに試みられよ

本會録事

○十一月例會　第一土曜日午後一時より京橋區宗十郎町七番地大日本私立衛生會事務所於て開會す此日や雨天なりしを以て來會するもの四十名に過ぎず最初に岡田和郎君(慢性傳染病の豫防)と云へる題にて慢性傳染病は急性傳染病より一層烈しき所以を演説せられ次に加藤弘之等の演説ありしが散會せしは午後五時なりき、

○懇親會　十一月十六日午前十時より大學植物園に於て本會秋季懇親會を開く來會するもの大凡八九十名午前十時會員集まるや(山勢)(山室)(荻岡)等の三曲合奏數回あり次に宮下俊吉君(教育と眼との關係)と云へる題にて講演せられたり今其大意を記載せんに教育の普及と共に近視患者の增加する一利一害の免れざる處にて歐米各國とも同患者至つて多く殊に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨逸の如きは其最も甚だしき者にて近來我國に於ても文運漸く隆盛に赴くに隨ひ亦同患者を見るに至る實に一國一家に取り不幸なる者なれば能く之が豫防法に注意せざる可からずと次に加藤弘之君の演說ありたり此日や天氣晴朗に金風穩にして溫暖躰に適す恰も好し滿林の紅葉は霜を經て愈々丹く奇樹老松の間に隱見し其狀錦繡の如く人をして仙境の中にあるの思ひをなさしめたり會員各園中を散步し或は淸淨樹下に骨牌を鬪はすあり或は追羽根に不知〱運動するあり充分の歡を盡し散會せしは午後五時なりき

○十二月例會　十二月六日第一土曜麴町區富士見町四町目明治義會に於て開會す來會する者六十名大澤岳太郎君(人骨に就て)伊藤隼三君(育兒の要點)宮下俊吉君(眼鏡の利害に就て)講演せられ散會せしは午後五時なりき

○一月例會　廿四年一月第一土曜午後一時より京橋區宗十郎町七番地大日本衞生會事務所に於て開會す來會者凡五六十名最初に岡田和一郎君(一月の衞生)榊俶君(婦人精神病の原因幷其豫防法)等の講演あり次に北川乙二郎君幷に會員本多せん子等の演說ありしが當日は今年の發會なりしを以て福引等の餘興ありて甚だ賑やかなりし散會せしは午後五時なりき

○十一月懇親會寄附

一金五圓　山縣伯爵夫人
一金五圓　原田時子(懇親會の節音曲者へ寄附)
一金二圓　加藤弘之君
一金壹圓　加藤照麿君
一金壹圓　宮下俊吉君
一金壹圓　岡田和一郎君
一金壹圓　諸葛すみ子
一金壹圓　宮本仲君

一月例會寄附

一金壹圓　原田時子
一金壹圓　佐々木芳子

○今回本會の會員になりたる人名左の如し

岡千代子　京橋區中橋和泉町二番地
緒方夫人　駒込東片町
片岡玉子　京橋區木挽町十丁目十番地
佃うめ子　麴町三番町十番地
行木春子　芝南佐久間町二丁目十八番地
長岡千枝子　南佐久間町二丁目十五番地

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

久世あい子　小石川大和町九番地
馬原ひさ子　麹町下六番町五十二番地
山本かめ子　麹町上二番町廿四番地
山中きく子　芝公園能樂堂前阿心庵
山川夫人　日本橋數寄屋橋外
松岡夫人　麻布本材木町廿四番地
近藤かう子　駒込東片町四十二番地
齋藤とみ子　芝南佐久間町二丁目十五番地
森安かた子　牛込上宮比町五番地
關夫人　上二番町四十五番地

今回本會贊成員となりたる人名左の如し

村岡範爲馳君　小石川竹早町七十七番地
山中二郎吉君　芝南佐久間町二丁目十五番地
水崎保佐君　麹町有樂町三丁目一番地

○料理會發會　一月九日飯田町四丁目二十八番地に於て發會を開く會長初會員一同出席せられたり此日河津角田の兩夫人新入せらる

料理會寄附の人名左の如し

一二圓　西ます子
一壹圓五十錢　細川郁子
一壹圓五十錢　榊幸子
一雜品數種　南部くま子
一珈琲茶碗一ダース　濱尾さく子
一ナフキン一ダース　細川郁子

○本會に熱心盡力せられたる三宅いし子は死亡せられたり誠に惜むべき事にこそ

○婦人育兒會より右規則掲載の義依賴に及候間左に掲載致候

婦人共立育兒會の趣意

凡世の中にあはれにかなしきことは父母を亡ひ親族朋友の賴むべきなくつひに飢餓にせまり疾病に惱むものゝ身の上なりそが中にとりわけかなしきはかゝる苦境に陷れる幼兒にて聽くだに忍びがたきものにぞあるされは海の東西いづれはあれど文物ある國に生れたる人のかゝる薄命者に對する感情は大なる別無かるべし宜なるかな我朝にして昔光明皇后の與し玉ひし悲田、施藥の二院を始として德川氏の世には養生所といふものあり又歐洲にては到る處育兒院の設あるをみる、みなこれ人情孤獨をあはれむよりをこりたるなり近時我國にては公衆の喜捨に依る慈善の諸會おこり婦人にしてこれを贊けざるものはほとんど稀なるべしされども多くは大金を棄捐し又は絹

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帛を寄附するなど身分ある人ならではなしあたはずさりとてこのあはれなる幼兒を奈何にせん、こたび同志相集り何人にても爲しうべき方法を求めて家中用に堪へさる廢物をつゝまやかに貯蓄しこれを金錢にかへ育兒の資に充むとすされはこの節倹の心もて育兒の資を得なは幼兒の爲はいふまでもなく御國に對しても其裨益なしといふべからずあはれ世の感を同うする姉妹の方々に希くは速に本會に加入してこのはかなき企圖を助成し玉へといふ

明治二十三年十二月　婦人共立育兒會

規程

第一　本會ハ婦人共育兒會ト稱ス

第二　本會ハ會員各家ノ紙屑ヲ賣却シタルモノヲ資金トス故ニ金員ニ定限ナシ

第三　本會ハ一ノ婦人會ナルカ故ニ男子ノ入會ヲ許サス

第四　本會ハ會員ノ多キヲ要スレハ別ニ定員ヲ限ラス

第五　本會ノ救助スベキモノハ主ヲ東京市養育院ニ在ルノ病兒トスレドモ若シ府下會員ニシテ貧兒ノ疾病ニ罹リタル者ヲ認メタルトキハ又之カ救助ヲナスベシ

第六　各區ノ會員ヨリ收ムル金員ハ各區ニ於テ先ツ之ヲ纏メ本會ハ更ニ各區ニ纏メタル金額ヲ領收ス

第七　集金ハ毎二ケ月之ヲ行フモノトシ其期日ハ各區ノ適宜ニ任ス

第八　各會員ノ喜捨スル紙屑賣上金ハ其姓名ヲ認メタル名札ト共ニ之ヲ徴集者ニ渡スベシ

第九　各員ヨリ入金高ハ其競爭弊害ノ生スルヲ慮リ本會ニ於テハ之カ詳錄ヲナサスシテ單ニ各區ノ纏メタル小計及本會ノ總計ノミヲ詳カニ記錄シ之ヲ會員ニ報告ス

第十　本會ノ計算ハ毎年六月及一月ノ兩度ニ之ヲ各員ニ報告ス

第十一　本會ハ便利上當分府下各郡ニ世話人二名ヲ置ク

第十二　各區ノ世話人ハ各區ニ於テ之ヲ設ケ之ヲ本會ニ通知ス

第十三　會員タラント欲スル方ハ當分ノ内下谷二長町大日本衛生會牛痘種繼所へ御通知アルベシ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衞生附屬衞生食物研究會主意

衞生の苟且にすべからざるは大方の能く知らるゝ所なれば敢て此に贅せず是夙に各衞生の設あるを以て知らるべし

我等聊感ずる所ありて曩に婦人衞生會末席を汚し爾來此の道に心を委ね日夜苦慮する事久し是只人生至寶の健康を得し天賜の幸福を全うせんとの希望なりされど衞生の道も順序を追ふて進まざれば其効も空しかるべし衞生の第一に講ずべきは飲食を措て他あらじ次で衣住育兒看護法の必要なる今更云ふをまたずと雖もそは順を追ふて他日之を講究する者とし先づ今日着手の初めに當り食物研究會を起すは衞生上直接に利害ある物なれば此に本會を起すこととはなりぬさて本會は只管衞生の主旨に隨ひ和洋折衷の調理を會員互に研究し料品の滋養の多少等は親しく衞生試驗所の分析を乞ひ物價の廉にして滋養食物調理を研究し併て鹽梅の精巧を得せしめんがためなりもとより貴婦人方に厨下の業は不要の如く見ゆれども衞生を重じ家政を重とするには食物の研究一日も苟且にすべからざるなり以上本會の主旨大畧として書き記しぬ大方の貴婦人淑女御贊成あらまほしくこそ。

衞生食物研究會假規則

第一條　本會ハ衞生食物研究會ト稱シ假ニ麴町區飯田町四丁目二十八番地岡田ミス子方ニ置ク

第二條　本會ノ目的ハ價廉ニシテ滋養ノ多キ食物ヲ撰ミ和洋折衷ノ調理ヲ研究シ會員互ニ是ヲ日々實際ニ行ヒ專ラ衞生上ニ効驗ヲ現スヲ旨トス

第三條　何人ヲ問ハス本會ノ目的ヲ贊成入會ヲ望ルル諸姉令孃ハ直ニ入會スルヲ得可シ

但入會ノ際器具料トシテ金五十錢ヲ納ムヘシ

第四條　本會ハ當分毎月三回第一第二第三金曜日午後一時ヨリ開會ス

但出席ノ有無ハ開會一日前ニ報知アヘルシ報知ナキハ出席ト見做スヘシ

第五條　本會ヘ參會スル者ハ一回金貳拾錢ヲ會費トシテ納ム可シ若シ會員外ニシテ臨時出席ヲ臨マルル時ハ來會ヲ許ス

但會費貳拾五錢持參アルヘシ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(遞信省認可)

會員諸君に望む

本會設立以來次第に盛運に赴き今日にては無慮三百名の會員と一支會の設立を見るに至りしも唯毎月一回の講談會と隔月一回の雜誌にては到底實際の効益を社會に普及するに足らず勿論雜誌を增刊し且つ衣食住育兒看病等に就て實際の事業を興し廣く公衆の幸福平和を增進せんことこそ本會の素志ありとは云へ會運猶微弱にして其機に至らず常に甚だ遺憾とする處なり、會員諸君は固より衛生の必要を知り給はん從つて婦人衛生會の事業の効益あることを認め其實行と普及とを希望せらるゝならん請ふ自今一層奮勵して各々出來得る丈け同志を勸誘し衆力を結合せられよさらば次第に勢運盛に基礎堅まり本會の事業を擴張する叉難きにあらざるべし、社會の事總べて單身孤力を以て成就するものにあらず殊に本會は一個人の私有にあらずして會員諸君の衆合躰なり故に本會の事業は悉く會員諸君の熱心に依賴せざるべからざるなり

私立 **大日本婦人衛生會**

御注意

會員諸君にして御轉居の際何等の御報知なき方多く雜誌配達其他種々差支へ甚不都合に候間御移動の際には必ず御報知被下度候

會費御不納の方は至急事務所まで御送附被下度爲替は總べて下谷郵便局宛に願上候

私立大日本婦人衛生會事務所
東京下谷區練塀町四十三番地

本會雜誌編纂委員　荻野ぎん子　鈴木まさ子

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　私立大日本婦人衛生會

編輯兼發行人　東京麴町區三番町六十七番地　巖本善治

印刷人　東京麴町上二番町四十八番地　八木吉六

秀英舍印刷

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN